

ヤロイキョウカイ シンブン カゾク ヒト イッショ フン クダ
* 堺教会 CS 新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

いずみのひろば

2018年1月号
日本基督教団堺教会
No.470 教会学校

「ベツレヘムへの道」

ルカによる福音書 2. 1～5



ある日ヨセフさんとマリアさんは、神様からとても大切なご用を頼まれました。それは天使が現れて、「イエス様のお父さんとお母さんになってください」と言われたのです。

毎日礼拝して、お祈りしているマリアさんとヨセフさんも、やっぱり突然のことでも心配で困っていました。でも、マリアさんとヨセフさんは、「神様がそばにいて助けて下さる」と思うことが出来そして、素直に神様のお言葉に従うことが出来ました。

そして、2人は赤ちゃん誕生の準備を始めました。赤ちゃんの洋服やオシメやベッドを作ったり、赤ちゃんが元気で育つ為には、荷を食べたらいいのかを勉強したり、オシメの当て方、お風呂の入れ方、赤ちゃんがいつ生まれてもいいように、一生懸命準備をしました。マリアさんのお腹は、どんどん大きくなり、今にも生まれそうなくらい大きくなりました。

そんなある日、とても大変なことが、起こりました。ローマを治めている王様が、ある命令を出しました。命令というのは、「すべての人は、自分の生まれた町へ帰って自分の名前と家族を登録してください」と言うものでした。王様はその命令で自分の国にどんな人が何人いるかを調べて、お金を集めようと思ったからです。

おなかの大きなマリアさんもロバに乗って、今住んでいるナザレの町から生まれた町のベツレヘムまで帰ることになりました。歩いて1週間もかかる、本当に大変な長い道のりです。マリアさんとヨセフさんは「神様どうぞお守りください」とお祈りし、神様を信じすべてをゆだねて旅を続けました。そんな2人を神様はそばで見守り何事もなく無事にベツレヘムまで届けてくださいました。私たちにもヨセフさんやマリアさんのように、突然苦しいことや悲しいこと困った問題が起こります。どうしたらいいのかわからず、困り果ててしまうことが、いっぱいあります。でも、私たちの神様、イエス様は私たちが決して見捨てず、そばにいて守ってくださいます。神様を信じ続けたマリアさんとヨセフさんのように、私たちも教会学校で、共に礼拝し、たくさんお話を聞いて、どんな時も神様を信じ歩いていけるようになりたいと思います。